

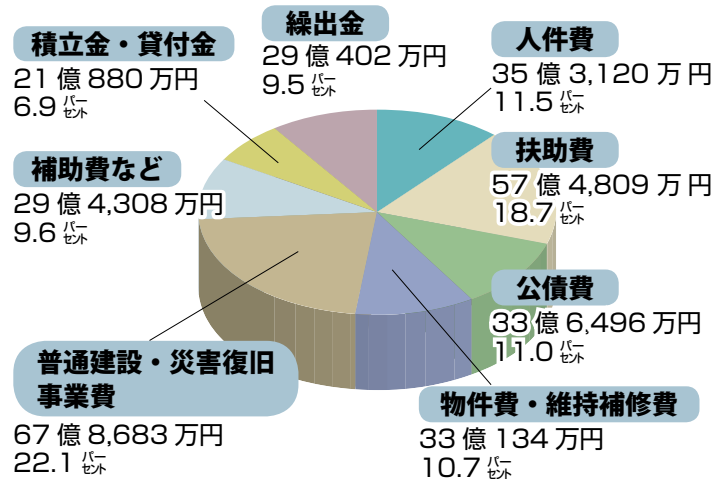
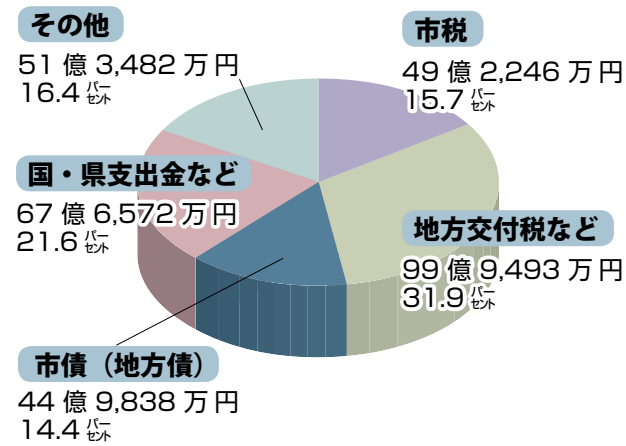
平成 29 年度決算報告

小林市の平成29年度の決算がまとまりました。どのような収入があり、どのように使われたのか。そして、小林市の財政状況はどうなっているのか。歳入歳出の決算額をさまざまな比率とともにお知らせします。

●問：財政課Tel 23 - 1114

歳入 平成29年度は313億1,631万円

歳出 平成29年度は306億8,832万円



会計別に見る 決算状況

会計名	歳入 (千円)	歳出 (千円)	差引 (千円)
一般会計	31,316,311	30,688,318	627,993
特別会計			
簡易水道事業	685,576	665,767	19,809
国民健康保険事業	7,768,104	7,468,007	300,097
物品購入	443,890	443,890	0
農業集落排水事業	241,497	234,277	7,220
下水道事業	754,872	739,154	15,718
西諸地域介護認定審査事業	36,630	29,025	7,605
介護保険事業	5,908,915	5,796,215	112,700
後期高齢者医療事業	1,286,496	1,284,170	2,326
西諸地区いじめ問題対策専門家委員会	150	75	75
企業会計			
水道事業	557,233	423,044	134,189
病院事業	2,311,887	2,435,592	△123,705

歳入と歳出の差引

収支の前年度比較 (一般会計)

区分	歳入総額 (千円)	歳出総額 (千円)	歳入歳出差引額 (千円)
H29	31,316,311	30,688,318	627,993
H28	29,379,420	28,665,754	713,666
増減額	1,936,891	2,022,564	△85,673
増減率	6.6	7.1	△12.0

歳入総額は313億1631万円、歳出総額は306億8832万円で、前年度と比較すると約20億円増加し、過去最大の決算規模になりました。

健全化判断比率を 読み解く

実質赤字比率 (単位:%)

一般会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率

H28	H29	早期健全化基準
—	—	12.83

※赤字ではないため、「—」で表示

連結実質赤字比率

全ての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率

H28	H29	早期健全化基準
—	—	17.83

※赤字ではないため、「—」で表示

実質公債費比率

借金の返済額などの大きさから資金繰りの危険度を見る比率

H28	H29	早期健全化基準
10.4	10.5	25.0

将来負担比率

市が抱える負債の残高から将来の財政への圧迫度を見る比率

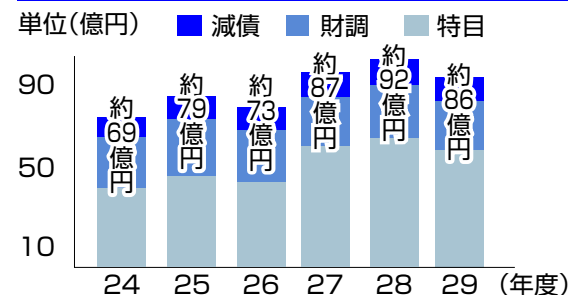
H28	H29	早期健全化基準
93.5	108.6	350.0

平成29年度決算は、どの比率も早期健全化基準内であるため、健全性は維持されています。

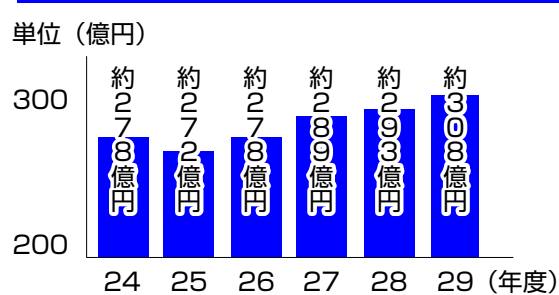
市の財政を家計に例えると

市の財政	家計
収入	
・市税	・月収 (給料など)
・地方交付税	・親からの仕送り
支出	
・人件費	・食費
・扶助費	・医療費など
・公債費	・ローン返済など
・物件費	・光熱費・家賃

基金残高の推移



地方債残高の推移



歳入の状況
歳入には、市以外に頼る収入(依存財源)と市独自の収入(自主財源)があります。依存財源は主に、地方交付税や国県からの補助金、地方債などがあります。29年度は、約213億円で全体の67.9%でした。一方、自主財源は、主に市税や、寄附金(ふるさと納税)などです。29年度は、約100億円で全体の32.1%でした。今後も自主財源の確保に努めます。

歳出の状況
歳出は、義務的経費、投資的経費、その他の経費に分類

されます。義務的経費は、毎年必ず支払う人件費や扶助費、公債費など、支出が義務付けられ、削減することが難しいものことです。29年度は公債費の影響により、前年度比プラス1.3%になりました。投資的経費は、道路の整備や施設の建設を行うためのもので、普通建設事業費や災害復旧事業費のことです。29年度は新庁舎建設事業費や畜産競争力強化整備事業費などにより、前年度比プラス5.5%になりました。

健全財政の継続に向けて
第2次小林市総合計画の実現に向けて、健全で効率的かつ計画的な財政運営を推進し、安定した財政基盤の確立を目指します。

地方債の残高は、新庁舎建設
設事業に合併特例債を活用したことなどにより約15億円増えました。地方債は市が行う長期借入のことです。借り入れの際は、返済分が地方交付税で手当てされるものを優先し、負担の軽減に努めています。一方、家計に例えれば貯蓄に当たる基金の残高は、前年度と比較して約6億円減りました。

もっと「財政」を理解する

財政にまつわる用語を解説します

【地方交付税】

地域による経済格差を埋めるために国が地方に配分するお金。普通交付税と特別交付税があり、どちらも使用に制限はありません。

【地方債】

借金のこと。今税金を払っている人だけではなく、将来利用する人にも負担してもらおうという考えに基づいています。一般財源が少なくても、大きな事業に着手することができます。

【財調 (財政調整基金)】

災害復旧など臨時、異常な財政需要の財源に充てるための基金。

【減債 (減債基金)】

地方債の償還に必要な財源を確保するための基金。

【特目 (特定目的基金)】

利用目的を限定している基金。目的外の分野には使えません。